第　８　８　号

奈良会議所ニュース

1976. 1

発行所　奈良市登大路町36番地の２
奈良商工会議所
編集責任者　小谷武芳
印刷所　共同精版印刷株式会社
１部５０円

謹賀新年

不況に明け暮れた昭和五十年も波乱のうちに終わり、試練の年とも言うべき新年を迎えようとしています。しかし、この逆境の時こそ正念場と考え、地元経済界の総意を結集し危機突破に当たる覚悟でございます。皆さま方のご支援ご協力をお願い致します。

昭和五十一年元旦

奈良商工会議所

会頭　大森久司
副会頭　上田慶治
〃　安藤四良
〃　小林茂市
役員一同
議員一同

目　次

年頭のごあいさつ　奈良商工会議所 会頭 大森久司……2
新年のごあいさつ　奈良県知事 奥田良三……3
年頭ご挨拶　奈良市長 鍵田忠三郎……4
年頭所感　日本商工会議所 会頭 永野重雄……5
年頭論壇　奈良県立短期大学教授 由比凌……6
年頭のことば……7
一級販売士検定試験……9
会議所日誌……9
求職者情報……10
消息……10
ご招介……11



年頭のごあいさつ

奈良商工会議所
会頭　大森久司

昭和五十一年の新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

さて、景気調整策の最大の目的であったインフレの猛威はかなり沈静化したというものの、その代償として我が国経済は、二年にわたるゼロないしは低成長となりました。そのなかで個人消費、民間設備投資など最終需要の著しい不振が相互に悪循環を招来し、四次にわたる不況対策にもかかわらず、一部わずかに明るさが見えはじめたというものの、五十年経済は全体として不況に明け不況に暮れたと申せましょう。

さらに海外の経済情勢を見ても世界不況や資源、人口さらには発展途上国の問題など世済経済も歴史的な構造変化を迎えていると考えられます。

この様な厳しい環境の中で我が国経済の最大の課題は、かつてない深刻な不況を一日も早く克服し、低位安定経済に移行することであります。

ここで新しい年を迎えるわけでありますが我々産業人は今日の不況は従来の不況とは異なり低位安定経済への転換調整の過程を内蔵したものであるという認識をもって高度成長時代につちかわれた既成観念を打破し、新しい時代に適合するための創造性とたくましい活力をもって未踏社会への挑戦をなすべきときであると存じます。

また当所と致しましては、この時に当り、総意を結集して商工業の振興の拠点として真に親しまれ、信頼され、行動する商工会議所として、その組織機能を充実し、一歩一歩具体的な実践を積み重ね積極的に活動してまいりたいと存じます。

皆様方のご理解とご支援をお願い致しまして年頭のご挨拶と致します。



新年のごあいさつ

奈良県知事　奥田良三

新年おめでとうございます。

ことしも県民の皆さまと共に、元気にお正月を迎えさせて頂くことができました。ほんとうに嬉しく思っております。

さて、私は、昨年一月、多数の県民皆さんのご支持を得まして、知事に選ばれたのでありますが、そのときの私は、七選という責任の重さをかみしめながら、この何ものにもかえ難い長い経験にモノをいわせまして重責を十分に果たし、県政発展に力の限り努力して、県民皆さんのご期待に応えたいと、固く誓ったのであります。

二十一世紀を迎えるころの奈良県、二十年、三十年先きのことを考えて、そのときになってもあわてることのないような奈良県の基礎づくりをいまからしておくこと、そんな奈良県づくりが、私の県政を推進してゆく上でのモットーであります。これからもこのような県づくりを、従来にもまして力強く進めてゆきたいと考えています。

昨年は、日本全国が不況の波に覆われました。石油ショック以来、消費者物価の高騰、総需要の抑制、そして経済不況と、ここ二、三年、思わしくない情勢が続いているのであります。私たちは、一日も早く、この深刻な不況から抜け出るために、国民県民みんなが力を一つにして、ことしこそはという願いのもとに、それぞれの立場で、さらに努力をしなければなりません。

県におきましても、いま、県税収入が大幅に落ち込むことが確実で、財政の危機に見舞われています。私は県民皆さんの生活を考えて、できるだけ本年度の当初に計画した通り県政を推進するよう努力してきたのでありますが、止むを得ず、予算の一部の執行を留保し、さらにその一部を減額補正いたしました。これは全国的趨勢で止むを得ないとは思って居りますが、この措置は私としては誠に不本意でありますけれども一方、国庫支出による公共事業として四十四億円の増額補正を行ない、積極的な需要創出を図ったのであります。どうか県民皆さんにおかれましても、よろしくご理解賜わりますよう、お願い申し上げる次第であります。

私は、さきにも申し上げましたように、二十年、三十年先きを考えての新しい奈良県づくり、これを私のモットーとして、こういう財政不如意のときには、一層節約するところは節約し、有意義な事業には惜しみなく金を使って、積極的に力強く県政を推進してゆきたいと考えております。

県政の大きな柱は「生活基盤の整備と県民の生命を守り健康を増進する」ための施策であります。

県民皆さんの生命と健康を守るためには、医療機関の整備をはじめ休日夜間診療、へき地医療の充実は欠かすことのできない事業であります。昨年七月工事に着手した「県立奈良病院」は五十二年秋には奈良市平松町に開院します。さらには王寺周辺病院の新築や五條病院の拡充をはかることも必要であり、県民医療の水準を高く保つために医科大学の整備にも力を入れて高度な医療サービスの提供に努めなければなりません。

生活基盤の整備としては、県では、従来から『県営上水道』と『県営下水道』の事業を進めてまいりました。県営上水道事業は、大和平野全域と宇陀郡榛原町の二十五ヵ市町村に吉野川と宇陀川から水を持ってきて、皆さんのお飲みになる水を用意しようというもので、ことし計画どおり全ての市町村に水を送ることができますことは、誠に喜ばしい限りであります。

大和川上流流域下水道事業は、全国に先がけて奈良県百年の大計として手がけた事業であります。この事業は私たちの便所を水洗式にすることと川の水をきれいにするという二つの目的を持っており、すでに第一次計画では事業も順調に進み、ことしは極力管渠の工事を促進して、天理市に次いで大和郡山市、奈良市の下水も処理できるようにいたしたいと考えています。そして昨年六月、この第一次計画と並行して、大和高田市や御所市など十三市町村を対象に第二次計画を確定し、いま、浄化センター用地の買収を急いでいるところであります。さらには大和平野の第三次計画、また、吉野川や宇陀川の流域にも、なるべく早くこの事業を進めてゆきたいと決意を新たにしているところであります。

このほか、教育の振興、社会福祉の充実についても、その理想の実現に向って、さらに一層の精進を続けてまいりたいと思っています。

私としてただ一つ残念なことは、諸物価の高騰等により経営状況が悪化したため、極力抑えてまいりました『県営水道』の料金を、ことしは上げざるを得ない事態になってしまったことです。〃水道事業に必要な経費は水道料金でまかなう〃という、受益者負担、独立採算制の考え方をご理解頂き、よろしくご協力下さいますようお願い致します。

県民皆さんも新しい年にあたって、ことしこそはといろいろ決意され、お考えのことがあることと思います。県としましても、ことしもまた、将来のための有意義な年であるように、そのような県政を是非とも進めたいものと考えております。

県民皆さんの県政に対する暖かいご支援ご協力を、年頭にあたり、お願い申し上げます。



年頭ご挨拶

奈良市長　鍵田忠三郎

〝求道をもって真に幸せなる文化のまち奈良を建設せん〟これは今年の年頭に当たり奈良市長として掲げる昭和五十一年の標語です。

今年の経済情勢は厳しい不況感の中で高度成長経済から、いわゆる安定成長経済に移行する難しい情勢であります。その際大事なことは、不況を安易な金融によるつなぎ、人員節減と仕事を減らせることによって乗り切ろうという態度です。

不況なればなぜ余分に工夫して、そしてなおきびしく働かないのか。

私は不況の波を乗り切るのには、開拓精神と事業目的を明らかにすることが最も大事なものと考えております。

我々が経済活動の目的をお金をもうけること、自己の繁栄を得ることにおいているのは間違いであり、それは雲をつかむようなことであり、真に幸せなる人生をつくることにはなり得ないと思います。

その目的とするところは経済を通じて理想的な社会を建設することであり、真に幸せなる社会をつくることであると存じます。経済は手段であって目的ではありません。

我々は不況・好況の経済の波があろうが、無かろうが、経済人も理想社会をつくる目的のために、開拓精神をもって精進することだと存じます。

そのような本来の確実な考え方になったとき、不況の波は何ら恐ろしくはなく、かえって立派な事業が不況の波に洗われて生まれてくると存じます。

元旦の計は一年中を支配します。新春を迎えるのに際し、奈良市は苦難を求める求道心もって偉大な奈良のまちのもつ〝いのち〟を生かし、人の道のあまねく行なわれる豊かな文化のまちを建設する決意のもと、自治体も今年は苦しい不況の試練に会うと思いますが、中国を含む広い視野に立ち、開拓精神もって、立派な理想郷奈良のまちづくりの使命に献身いたしたいと存じております。

経済界の皆さんとも手を携えて、不況にめげず、ともに協同し、ともに立派な奈良の心豊かなるまちづくりに精進いたしましょう。新春に際し、経済界の皆さんのご盛運とご多幸を祈ります。

年頭所感



日本商工会議所
東京商工会議所
会頭　永野重雄

昭和五十一年の新春を迎え、謹んでお慶び申しあげます。

顧みれば昨年の日本経済は世界的規模による深刻な不況に見舞われて、まことに苦しい年でありました。

私は、日本経済が巨大となった今日、その舵とりは早目に行うべきであると考え、いち早く総需要抑制策から金利引下げと減税を含む景気浮揚策への政策転換を要路の方々に訴えて参りました。日本商工会議所としても、深刻な不況に打ちひしがれた全国の商工業者の悲痛な叫びを受けとめ、昨年三月、経済危機突破全国大会を開催したのをはじめ、各地の商工会議所と相呼応して数次にわたり、不況脱出の具体策を関係方面へ強く働きかけて参りました。

政府においては、これまで四次にわたる不況対策をとられたものの、景気浮揚策に本腰を入れはじめたのはようやく九月からであり、現在にいたるも、遺憾ながら景気回復のきざしはみられず、一昨年に引き続き、昨年もゼロ成長に近い水準にとどまったものと推測されます。

私は、こうした現状をみますとき、今年こそは、国民の誰もが実感をもって景気が回復していると感じとれる年とし同時に、今後の安定成長路線への橋渡しの年としなければならないと念願するものであります。

このため、われわれとしても、その達成をみるまでは、繰り返し、機に応じた積極策の推進を政府に要請していくことが必要と考えております。

さて、今回の不況と関連し、とくに感じますことの一つは、経済の運営はなによりもタイミングが大切だということであります。即ち昨年始め頃までは、思い切りのよい景気浮揚策をとることに懸念する向きもありましたが、私は、政策効果のタイムラグを考え、より早期に、勇断をもって実のある景気浮揚策をとるべきであったと思います。タイミングのよい果断な政策運営のいかに大切であるかを、今後の教訓として生かさねばなりません。また、政府の景気対策と地方自治体における景気対策との連動の欠如も問題の一つであります。国、地方における対策の歯車がうまく噛み合うよう、その方策について、この際、真剣に研究する必要があると考えます。

今日、企業は、海外要因によるエネルギーや原材料価格の高騰、深刻な不況下における需要の停滞など苛酷な条件下にあって、失業を顕在化させないよう、企業経営にとっては過剰ともみられる労働力を抱えて頑張り続けております。企業のこの姿を正しく評価し、産業界に活力と自信を取り戻させることが肝要であります。企業も国民も苦しい試練に立たされている今こそ、冷静に現状を直視し、企業の繁栄なくして国民生活の向上も期し得ないことに思いをいたし、ともに困難を分かち合っていかなければならないと考えます。

私は、昨秋の日本商工会議所会員総会において、これからの経営者には国民の財産を預っているとの感覚が必要であり、一方、国民も企業や産業は国民の財産であり、企業家にゆだねて管理運営して貰っているとの信頼感を持つことが必要であると申し述べましたが、いま一層その感を深くするものであります。

世界的不況のさなか、昨年十一月、ランブイエで開催された主要国首脳会議において、景気の回復をはじめ世界経済の直面する諸問題の解決を目指して、新たな国際協調の第一歩が踏み出されたことは、まことによろこばしい次第であります。このランブイエの精神が実を結び、世界経済の回復が確固たるものとなる日の早からんことを希うものであります。

地域住民のニーズに応え、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することは、地域総合経済団体である商工会議所の責務であります。

こうした見地から、全国各地の商工会議所は、小企業経営改善資金の融資斡旋を中心とする小規模事業者に対する相談指導、商業活動の調整、あるいは都市再開発や地域開発、工業・卸団地の建設、産業廃棄物処理施設の設置について、オピニオンリーダーあるいはオルガナイザーとして推進するなど、幅広い事業活動を展開しております。とくに最近、日本商工会議所が各地商工会議所とともに推進して参りましたクリーン・ジャパン運動が先鞭となって、昨秋、財団法人「クリーン・ジャパン・センター」が設立されましたが、今後の活動の展開が期待されます。

さらに、私は、人間の真の幸福は、心と身体のバランスにありとの考えから諸外国で広く普及され、またわが国でも脚光を浴びはじめておりますトリム運動の積極的展開に、関係の皆様とともに、力を注いで参りたいと考えております。これは、地域住民の福祉の向上と密着した問題でもありますので、商工会議所の活動としてもふさわしいものであると思われます。現在、商工会議所のビジョン作りが全国のモデル都市商工会議所で進められておりますが、その成果は、絶えず前進を続ける商工会議所活動のあり方に示唆するものが大きいと信じます。

なお、昨年行われた国鉄の違法ストに対して、日本商工会議所・各地商工会議所ともども、事小・零細企業者や国民の声なき声を受けて、即刻中止の呼びかけを強く行いました。このような国民各層にはかり知れない被害を与える違法ストが再び繰り返されることのないように、強く訴えるものであります。

狭い国土に一億以上の人口を抱えるわが国は、原材料を海外から輸入し、これに国民のすぐれた技術・労働力・経営能力を付加して商品を輸出するという経済運営を宿命づけられており、それなるが故に、世界のいかなる国とも友好親善を尽し、国際交流国際協調を促進することが肝要であります。これはまた、商工会議所の重要な使命でもあり、私も昨年に引続き、その促進に率先寄与して参る所存であります。

経済社会構造が激しく移り変り、モラルの著しい低下が嘆かれている今日、自からの利害を超えて、地域社会の発展と公共の福祉のために奉仕する精神が一層強く求められております。商工会議所を支えるものはこの奉仕の精神であります。

私も、この奉仕の精神をもって、全国四百七十三商工会議所の皆様とともに、今後とも全力を傾け、「行動する商工会議所」の先頭に立って参る決意であります。

皆様の一層のご協力・ご支援をお願いいたす次第であります。

〈年頭論壇〉

低成長の風雪を越えて

奈良県立短期大学教授　由比凌



〈不況要因の悪循環〉

戦後最大の不況のなかに五十一年経済が始まった。今回の不況は直接的には四十八年来二年余にわたって実施された総需要抑制策の浸透による実体経済の過度の冷却化と国民の消費需要の著じるしい落ち込みにあることはいうまでもない。

日本経済全体としてみた場合、五十年下期の需要不足は二十兆円と推計され、この尨大な需給ギャップを背景に鉱工業生産水準は三年前（四十七年）の水準にまで低落し、企業は平均して三割に近い過剰設備を持つにいたった。

これらのことから当然企業業績の低下が生まれ、雇用調整の嵐が吹き荒んだが、このことがまた国民に将来の所得並びに生活設計についての不安感を増大させ、消費節約を一層拍車がけることとなった。文字どおり不況要因の悪循環が拡大しながら進んだわけである。

しかも予想を上回る国家、地方財政の財源難が四次にわたる景気刺激策を事実上不発に終らせ、また世界同時不況という異例の事態もわが国経済の実態悪を一段とかきたてた。

〈低成長経済に耐え抜く経営を〉

五十一年経済はまずはこの不況要因の相互悪循環をいかにしてときほぐし、断ち切ってゆくかにある。この場合、景気浮揚力として期待されるのは第一に輸出の増大であり、第二にさらに強力な景気刺激策の断行であろう。輸出については世界不況もアメリカ景気の好転からようやく峠を越したかにみえるし、また政府が公定歩合の一段の引下げを含む景気刺激に全力投球を惜しまないなら、この政策の効果をも加味して年度後半あたりから景気は重い腰をあげて、次第に緩やかながらも回復への動意を示すものと期待される。

しかし問題はさらにその後に持ち越される。というのは今回の不況はその規模が戦後最大であったということばかりでなく、その背後に世界経済の潮流の変化とそれに伴う経済構造の深刻な変動過程が進んでいることを反映したものである。つまり戦後高度成長を支えてきた技術革新を伴う設備投資の増勢、豊富安価なエネルギー供給、物価の相対的安定、完全雇用政策の充実等の諸要因が崩壊し、世界は好むと好まざるとにかかわらず中期的な低成長経済に移行せざるをえなくなったということである。「長い不況のトンネルを抜けると低成長だった」という川端康成ばりの表現がズバリ五十一年経済の特徴だといえる。

低成長経済の非常に大きい特徴は、第一に市場が相対的に狭くなるなかで、企業間競争が激しく展開されることから、優勝劣敗という資本主義本来の原理がこれまで以上に貫徹されるところにある。このことは一般的には大企業優位の体制がさらに強化される可能性を意味しよう。第二に低成長経済は企業にとって二通りの意味で選別の時代の始まりを物語るものである。まず低成長と財政危機のなかで国債、地方債がこれからも累積し、その大部分は金融機関によって事実上強制割当て消化される。日銀の買オペ政策が弾力的になされないかぎり、金融機関の資金繰りはさらに窮屈となり、このことから産業資金供給面での選別金融が必然的に強まってこよう。また一方、低成長のもとでは個人消費需要の伸びも制約されたものになろうし、そのなかで消費者の商品選択、企業選択も一層強まってくるものとみなければならない。企業はここでも選別の局面を迎えるわけである。

五十一年の企業、経済界はこのような低成長の風雪を受け取め、敢然とそれに立ち向い、耐え抜いてゆかなければならない。経営における高度成長感覚の抜本的修正＝量から質への転換、自己資本重視による経営基盤の充実と景気変動への抵抗力の強化、高付加価値・高生産性への指向等構造変化を乗り切る企業努力を切に期待する。

年頭のことば

苦難の年　逆境こそ正念場

四次にわたる不況対策にもかかわらず、我が国経済は、倒産、増大する失業者、就職難……とますます低迷の度を深めつつある。

もちろん、この危機に手をこまねいているだけでは能がない。今年は辰年、『昇り竜』にあやかって、不況風を打破したい気持ちは誰しもあるもの。加えて今年は昭和半世紀の第一歩に当たる。〝百里の道も一歩から〟――この年にふさわしい門出を期待するべく当所会議所ニュース紙上で、本年にかける意気込みなり抱負を語って頂くことにした。



（五十音順・敬称略）

年頭所感

昭和五十年度我が国経済は政府の数次に亘る不況対策にもかかわらず本格的な景気は実体面にほとんどその効果も現れず産業活動の低迷、一般消費需要の停滞等減収の年であった。

昇り龍の年に当り質の追求に重点を移し、資産、人材の有効活用に努め、利益向上に邁進致したい。

睦興業(株)社長　石谷昌生

新年に想う

新年の経済はどうなるのか、私は色々と検討致しておりますが、なかなか適格な見通しが、たちません。しかし昨年の年初と違いますのは、政策の基調が世界の主要国が総て積極策に転じている事であります。又不況の深刻化には、企業経営者も消費者も過剰反応とも云うべき心理面の萎縮があずかって力があったのでないかと思われます。それは復元の可能性があると考えられます。従って政府が五・六%と言う経済の実質成長は私は可能だと期待しております。何一つ資源のない我が国が低成長といえども、之が達成の為めには企業者も従業員もお互に協力して英知を働らかし、想像力を逞しく体質の改善業績の向上に最大限の努力を払ってこそ、この生成が可能と思いますので私は従業員と共に奮起する決意であります。どうか宜敷しく御指導御鞭撻の程御願い申し上げます。

(株)奈良明新社社長　乾　太郎

今年こそ人生と経済界を見つめなおす時

自主独立。互助互恵。諸行無常。色即是空。生死一如。一切無。人生も経済界も同じではないか。人がこれみんな基であり基を作ったものの諸策ではないか。人生も経済界も自分だけ自分だけと思って生きてゆくとどうにもならず自分の存在は他人の為にあり自分の企業は誰の為にあるか検討をすべきではないか、人生は楽しく生きる。経済界もそうあるべきではないでしょうか。辰年の本年こそ登りつめてゆこう。

光学堂時計眼鏡院代表者　臼井　明

県営中央市場建設に全力を

明年度は、県民一〇〇万待望の生鮮食料品の供給と価格安定に大きく寄与する県営中央市場の開場が予定されています。本年はその建設のための大切な年であります。

一層の協力をさせていただきたいと思っております。

(株)南都水産社長　川井徳蔵

健康で不況克服へ

新春あけまして企業にとっては世界的不況の逆境時代ですがこれが克服には何としても健康第一です。

その第一の要件は「すりへらさないように、サビつかないように」と言われている。これには一歩でも多く歩くことです。万歩運動でもやって健康な心身を以って不況に勝ちましょう。

(株)ひのり商店社長　河合利喜蔵

足を地につけた事業経営を

五十一年の年頭に際し、とりわけ厳しい見通しのもとに初めて経験する深刻な不況に決意を新たに経営方針、事業計画を計画倒れに終らしめないための措置、具体策を提示し、このような激変の年を真剣に検討し意欲をもってこの難局を好機として身を引締めてしっかりと足を地につけた事業経営を進めたい。

コテラ上川(株)専務取締役　上川雅庸

企業の社会的責任

企業の社会的責任について、その公共性等いろいろ云々されているが、私はその第一は利益を上げることだと信じている。

経営能力なく倒産するが如きは社会的にも犯罪である。利益を上げることによって従業員の福祉も国家や公共団体の財政も豊かになることは言うまでもない。唯、儲けるために手段を選ばないやり方は論外である。

上林化学(株)社長　上林安彦

年頭にあたって

福祉国家と安定経済を目ざす一九七〇年代もいよ〳〵後半を迎える。

画竜点晴を欠くことのないような政府の積極策を期待する。わが奈良商工会議所は一日も早く会館建設に伴う懸案問題等の処理を図り、百年の大計を樹立し、地域経済界の発展に寄与すべきであり、これに微力を捧げる所存である。

三和住宅㈱社長　小林茂市

会館建設基金にご協力を

あけましておめでとうございます。

私はただ一つ当面しています最重要課題―会館建設基金にご協力賜わった方々に深甚なる敬意と謝意を捧げます。

尚、目標完遂の為、この上ともご支援のほど懇願いたします。

共同精版印刷㈱社長　近東弘七

「サービス第一」で業務に邁進

明けまして、おめで度うございます。

激動の七〇年も、早くも後半に入りました。年頭に当りまして、公益事業を営む当社の社是であります「サービス第一」の本義をいま一度思い起こし、我々一同お客さまに対し、「まごころ」をもって業務に当る所存であります。本年も、よろしくお願いいたします。

大阪瓦斯㈱奈良支社支社長　下川均

逆境こそ最大の福音

最高の不況下に新春を迎え誰しも新らしい年こそと景気の浮上を望むものであるが、識者は昭和四〇年代の再来は無いと断言される。

私共中小企業の経営者は苦難の途が続くであろうけれど、逆境こそ天の与えたもうた最大の福音と考え懸命の努力があれば、途は自ら開けるものと信じる。

㈱鈴木社長　鈴木恒夫

卸団地建設にご協力を

当所商業卸部会の会員の中から出てきた卸商業団地建設も、数回にわたる研究会並びに各地域の視察を実施し、これを軌道に乗せるべく、日夜努力を続けております。

本年は辰年、〝昇り竜〟にあやかって、この大目的に邁進してゆく所存でございますので今後ともよろしくご協力のほどお願い致します。

㈱中谷玉水堂社長　中谷安治

お客様本位のサービスを

七〇年代も、はや六年目を迎え、本年こそ多少の明るい望みをかけても、楽観は許せない。

新しい年と共に、心新たに経費の節約を計かり常に明るく全てお客様本位に、お客様の心に合わせ誠心誠意を以って少しでも満足を得るよう一層の努力をすることである。

㈲あこや楽器店代表者　中塚哲

物流通経路の思い切った洗い直しを

「商の流れは変わりつつあり」

今の経済社会の大きなネックは物流通経路の思い切った洗い直しの必要であります。

川上・川中・川下の商流は棹さしている間に押し流された位置に気が付かない事の多い古い流通企業形態を、当社は此の「ムダ」の多い物流環境打破に新らしい知識集約化を主柱に、素晴らしい流通機能を具備して、顧客企業に永遠の繁栄を共に目指して行くことを当社の経営姿勢としております。

物流は優れた安全運転能力が要求されるまことに重要なこの年であり、この道一筋に求道者としての使命達成を御注目して頂ければ幸甚です。

㈱旭倉庫社長　福本正俊

〝昇り竜〟にかけて　ガンバラニャ!!

去年は私の当年りの卯年であった。何か景気的にも上運のチャンスを期待していたが、波乱二年に終ってしまった。それだけに今年の辰年は気勢のいい『昇り竜』であってほしいと願っているのだが……。

経済社会は大きな得体の知れない生き物だが、これを組成するのは私ども個人〳〵なのだ。うんとガンバラニャ!!　と思う。

㈱三和銀行奈良支店支店長　矢作登

昭和の半世紀第一歩にふさわしい門出を

龍は雲を起し、雨を呼ぶと云うが、本年は龍が登るが如く、経済界も水面下から頭を出し尻尾も出したいものと願います。

昭和の半世紀の第一歩にふさわしい新しい門出の年の年を期待するとともに、努力して確実に前進します。

積水化学工業㈱奈良工場工場長　山本敏夫

一級販売士検定試験要項きまる

試験は8課目　2月25日に実施

日本商工会議所、全国商工会連合会は、昭和五十一年二月二十五日各地商工会議所などで一斉に実施する一級販売士検定試験の要項を発表した。

小売業の健全な発展と消費者サービスの向上を目ざす優れた小売業従事者づくりを目的としたこの試験制度は、昭和四十八年にスタートし、これまで全国で受験者は延べ五万人にのぼりこのうち四万五千人の「販売士」が誕生している。

当所管内では、過去、二級、三級各二回実施し、それぞれ、二十二名（受験者九十八名）、一〇二名（受験者一二四名）が合格している。

今回の一級検定試験は、大規模小売店の店長・部長や中小小売業の経営者クラスを対象としたもので、実施されるのは今回がはじめて。内容もかなり高度な知識が要求される模様である。

要項によると、今回、新しく実施される一級の試験課目は①経営とマーケテイング②組織と人事管理③市場調査と立地分析④商品計画⑤仕入計画と管理⑥在庫管理⑦販売計画と管理⑧経営計算、の八課目となっている。

二年で合格も

合格基準は平均七〇%以上だが、課目合格保留制度の特典が設けられており、二年がかりで合格を目指すことができる。試験時間は午前九時から午後五時まで制限時間は各課とも四十分。従来の○×式に加え、記述式の問題が出題される。受験料は二、〇〇〇円。以上の内容になっている。

なお、同検定試験について詳しくお知りになりたい方は、当所検定係までお問い合せください。

TEL ㉖六二二一代

会議所日誌

（十一月～十二月）

11月19日 ◇時事通信内外情勢調査会懇談会に出席（小谷専務理事・於奈良ホテル）

20日 ◇富雄ユニード送迎バス調整懇談会開催（出席十一名、於当所）

21日 ◇金融審査会開催（推薦件数十一件、一三三十万円）◇税務指導連絡協議会二十回運営委員会に出席（仲野指導員、於農協会館）

23日 ◇第十九回計算尺県予選実施（於当所）

25日 ◇副会頭会議開催（於当所）◇交通運輸部会開催（ゲスト・前田奈良警察署長出席十六名、於当所）

26日 ◇おん祭り役員会に出席（木戸部長、於友楽会館）◇『本年度の賃金問題の考え方講座』開催（講師久保正徳氏、出席二十八名於当所）

27日 ◇源泉所得税の年末調整説明会に出席（坊松島各係員、於県文化会館）◇『資金計画のたて方と資金繰り講座』開催（講師加藤裕太郎氏、出席十一名）◇日中友好の翼実行委員会に出席（渡辺指導員、於当所）

30日 ◇第五十二回計算尺技能検定試験実施（受験者数百十一名、於正強高校）

12月1日 ◇副会頭会議開催（於当所）

2日 ◇記帳継続指導実施（2日～5日の四日間延指導件数二十九件）◇当所婦人会例会開催（出席野村会長他十六名、於若羽学園）

4日 ◇理財部会開催（出席九名、於当所）◇特許相談実施（相談件数二件）

5日 ◇会館対策実行委員会並びに会館運営管理委員会合同会議開催（出席上田・安藤・小林各副会頭他十九名、於近電奈良保養所）

8日 ◇当所婦人会役員会開催（野村会長他十四名、於当所）◇日中友好の翼実行委員会に出席（渡辺指導員、於京都商工会議所）◇副会頭会議開催（於当所）

9日 ◇金融審査会開催（推薦件数八件、八百四十万円）

10日 ◇卸団地建設役員会開催（出席四名、於当所）◇餅飯殿センター街アーケード竣工式に出席（小谷専務理事、於現場）

11日 ◇近畿商工会議所Cグループ運営研究会に出席（小谷専務理事、於大商賢島研修舎）◇卸団地建設推進協議会開催（安藤副会頭他二十名、於当所）◇卸部会議員会開催（下出議員他四名、於当所）

12日 ◇長野県商工会議所連合会一行来所（総数二十八名）

15日 ◇副会頭会議開催（於当所）◇建設部会開催（出席十二名、於当所）◇奈良県観光土産品公正取引協議会買取審査会に出席（西村指導員、於天理商工会館）

16日 ◇税務指導連絡協議会決算説明会に出席（坊記帳指導員・山脇係員）

17日 ◇県商業問題懇談会に出席（木戸部長、於当所）◇春日若宮おん祭りに参列（坊・堀田各主事）

18日 ◇第七回経営指導員研修会に出席（仲野指導員、於高田商工会議所）

建設部会長に桝谷博行氏



春日明次建設部会長の辞任にともなう後任建設部会長に桝谷博行氏（桝谷設計社長）が就任された。

これは、昨年十二月十五日開催の同部会において選任されたもので、副部会長は従来通り。

あなたの企業にこの人を!!

求職者情報

下記の求職者が奈良公共職業安定所に申込まれておりますので、雇用を希望される事業所は職業安定所紹介係までお問わせ下さい。

12月11日掲載分

性別	No.	職種	年齢	経験	本人の希望 手取賃金（月収）	勤務時間（休日）	勤務地（通・住）	規模	住所	配偶者の有無	学歴・資格
男子	1	総務事務	42	総務事務 3年 営業 8年	180,000円以上	9.00～5.00（日曜）	県内通	100人以上	奈良市	有	大卒普（免）
	2	集金係	38	集金 1年	100,000円	9.00～5.00（日曜）	県内通	50人以上	奈良市	有	中卒
	3	フロント係（ホテル）	42	商品管理 5年	100,000円以上	8.30～5.00（不問）	県内通	50人以上	天理市	有	高卒
	4	経理事務	43	経理事務 21年	180,000円	9.00～5.00（日曜）	県内外通	50人以上	奈良市	有	高卒
	5	現場監督（建築）	34	作業施行管理 16年	190,000円	8.30～5.00（日曜）	県内外通	50人以上	奈良市	有	高卒
女子	1	秘書	28	2.5年	90,000円	9.00～5.00（日曜・祝日）	大阪奈良通	不問	天理市	無	高卒
	2	衛生管理者	32	准看護婦 14年	80,000円	9.00～5.00（日曜・祝日）	生駒奈良通	不問	生駒市	有	准看養成所卒 衛生管理者免許 准看免許
	3	電話交換手	28	ダイヤル式交換 13年	80,000円	9.00～5.00（日曜・祝日）	奈良通	不問	奈良市	有	中卒
	4	キーパンチャー	27	IBMキーパンチャー 2.5年	80,000円	9.00～5.00（日曜・祝日）	奈良通	不問	奈良市	有	高卒
	5	保母	24	保育所保母 3年	70,000円	9.00～5.00（日曜・祝日）	天理奈良通	不問	天理市	無	短大卒

消息

◇住所変更

設計連合社ニレ建築設計事務所
新　奈良市高畑町一二〇二―七
旧　奈良市紀寺東口町七六八
TEL ㉕ 二〇二〇

(株)西村建築設計事務所
新　奈良市学園北二―一〇一七―八八
旧　奈良市大安寺町七九六―三
TEL ⑯ 一五〇五

東急観光(株)奈良営業所
新　奈良市三条町四八七（小山ビル一F）
旧　奈良市大宮町一―一―一
TEL ㉞ 一二八一

(株)大京塗料商会
新　奈良市柏木町四四八―一
旧　奈良市杉ヶ町三三

◇名称変更

新　進明金属工業㈱　旧　仲西工作所
新　馬酔木　旧　㈱モリヤス洋服店

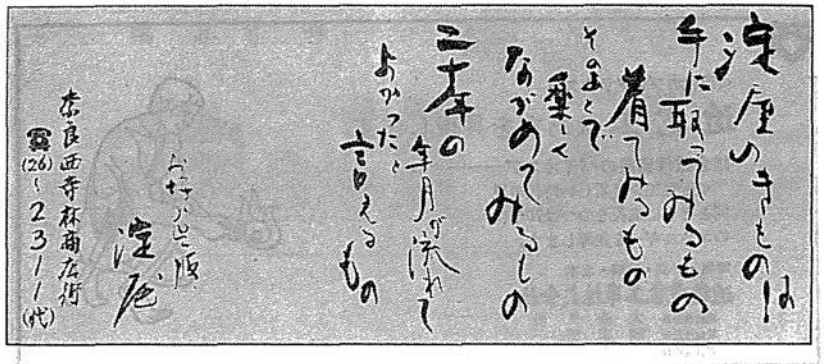
◇代表者変更

(株)池尻商会
新　田畑　利次　旧　池尻　辰雄

経 貸りやすくなりました！ 貸付金利七・〇%に

小企業者の方に好評を得ている小企業経営改善資金融資制度の貸付金利が昭和五十年十二月一日より、七・二%から七・〇%に引き下げられました。

なお、他の融資条件は従来通りです。



お菓子は徳村

菓子、食品
冷凍冷菓　各種　奈良県代理

徳村商店
代表　徳村楢良

菓子食品部　奈良市大森町24番地　TEL 0742—24—2001～4
冷凍冷菓部　奈良市川ノ上町14番地　TEL 0742—22—0122～3

良心的な価格・正札販売の店



■営業品目
ご婚礼家具／ご婚礼組夜具／ドレッサー／応接セット／書斎家具／ベッド／敷物／カーテン／お台所用家具／事務用家具／ベビー用家具／ルームアクセサリー／座敷机／タンス／その他

暮しに幸仕
森本家具
インテリア モリモト
西大寺店　奈良市二条町1丁目1-9　電 0742（33）7671
郡山店　大和郡山市丹後ノ庄町　電 07435（6）2731
生駒店　生駒市谷田町1250　電 07437（4）2181

ご紹介　どうぞよろしく！

部会	社名	代表者名	所在地	業種	TEL
商小	毎日牛乳 西大寺販売所	田部 照三	奈良市秋篠町856	牛乳販売	㊺7536
〃	日盛舎新聞舗	清水 宗一	奈良市角振新屋町8	新聞販売	㉓3109
〃	永本洋裁店	永本 節子	奈良市高御門町5	洋裁店	㉗7251
〃	㈱ジヤック電気店	西田 繁夫	奈良市花芝町30	電気製品販	㉒2896
〃	総合インテリア愛	柴田 知幸	奈良市学園大和町5—33	室内装飾品卸小	㊸8741
〃	憩屋菓子舗	西川 久夫	奈良市南魚屋北町7	和菓子製・小	㉔3519
〃	うおたに商店	魚谷 貞夫	奈良市西大寺北町1—1—9	食料品販	㊸3459
〃	上田洋服店	上田 敏行	奈良市紀寺地蔵町992—5	紳士服小売	㉓2929
〃	松屋	松本 修身	奈良市三碓町山田2250	衣料品販	㊹2871
〃	東口酒店	東口 コノ	奈良市法華寺北町937ノ1	酒類販	㉝2344
工業	八田木箱店	八田 利勝	奈良市尼ヶ辻1丁目712	奈良漬木箱製	㉝4984
〃	いたどり写真植字社	虎杖あさお	奈良市清水永井町25	写真植字	㉑1367
〃	山中商店	山中 義昭	奈良市高天町13	合成樹脂加工	㉓5392
観光	おふく	嶋田 勝弘	奈良市東寺林町25	飲食業	㉓3161
〃	更科食堂	野田 睦子	奈良市今御門町30	飲食業	㉓3714
〃	割烹スタンド小夜	西川 元庸	奈良市南魚屋北町6	飲食業	㉗7748
〃	すえひろ食堂	鴨田 登	奈良市南京終町2の260—1	飲食業	㉔4147
工芸	玄香園	小林 正春	奈良市西新在家町8	製墨業	㉒3944
建設	中尾建設	中尾 昭博	奈良市古市町8—1470	土木舗装	㉓4901
〃	日本電通建設㈱奈良支店	朝田 義男	奈良市杉ヶ町53—6	電信電話建設	㉓4501
〃	㈱オグラ工務店	小椋 道生	奈良市東九条町292—1	建築業	㉖3896
〃	植田建設	植田 正敏	奈良市三条宮前町7—26	建築業	㉝2563
〃	㈱ガーデンヤマト	窪田 好	奈良市五条町351	造園・立木工事	㉝3365
〃	佐藤左官業	佐藤 徳一	奈良市西包永町32	左官業	㉓1482
〃	近鉄不動産㈱	高田 祐	大阪市南区谷町8—7—2	不動産業	大阪768—5321

電気はみんなのもの
大切に使いましょう

関西電力（株）奈良支店

＜現代のプロメテウス＞
近電工はあすを具現します
総合設備産業のパイオニア——
＜近電工＞は新しい時代の展開とともに成長をつづけ70年代のエネルギーを先導します。
電気・計装・空調・土木
近畿電氣工事株式會社
取締役会長　大森久司
取締役社長　岡本繁一
奈良支店長　岸井英夫



内　外　国
特許・実用新案・意匠・商標
出願・審判・鑑定・相談・侵害事件・訴訟
（奈良商工会議所中小企業相談所顧問・相談日・木曜日）
蔦田内外国特許事務所
弁理士　蔦田璋子
弁理士　蔦田正人
大阪市東区瓦町2丁目9番地
（堺筋本町北へ200m東側）ハラダビル8F
電話大阪（06）227—5535～5537

商機をつかむ！
トヨタのビジネス
レンタをご利用ください。



信頼のネットワーク
トヨタレンタリース
必要なとき、必要な車が、スグそろいます。
節約時代にぴったりの合理的なシステム。
貴社でも是非ご検討ください。
お問い合わせは……☎0742(26)2223
トヨタレンタリース奈良
奈良営業所　奈良市杉ヶ町30　☎0742(26)2223



●お1人でものれる
奈良定期観光バス
公園名所めぐりほか数コース《毎日発車》
●のりば＝国鉄・近鉄奈良駅前
■お問合せ
定期観光営業所☎0742(22)5263
本社観光部☎0742(22)6331
奈良交通

総合企画・設計・計画・監理
株式会社 桝谷設計　代表取締役 桝谷博行
本社及び奈良事務所　奈良市大宮町1丁目6番21号　TEL 奈良（0742）34—1461㈹
京都事務所　京都市中京区御池通御幸町亀屋町京都府旅館会館㎒京都（075）221-1632（代）
大阪事務所　大阪市淀川区宮原2丁目13—12桝谷ビル　㎒大阪（06）391—5071㈹